

第 5 0 回 札幌支部高等学校新人剣道大会開催要項

- 1主

2共

3後

4主

5期

6会

7参

8チ

9組

10全
- 催

催

援

管

日

場

加

ーム

合

道
- 札幌剣道連盟

北海道高等学校体育連盟札幌支部

札幌・石狩学校剣道連盟

北海道高等学校体育連盟札幌支部剣道専門部

令和7年11月8日（土）開場8：00 審判会議 8：45～ 開会式9：10～
[男子個人戦] [女子団体戦Ⅰ部（決勝まで）] **[女子団体戦Ⅱ部 ※]**
[男子団体戦Ⅰ部（予選トーナメント、全道大会出場校決定まで）]
令和7年11月9日（日）開場8：00 審判会議 8：30～ 競技開始9：00～
[男子団体戦Ⅱ部] **[女子団体戦Ⅱ部 ※]** [女子個人戦] [男子団体戦Ⅰ部（決勝まで）]
※女子団体戦Ⅰ部・Ⅱ部の参加校数によって、女子団体Ⅱ部の実施を1日目・2日目のどちらで行うか、監督会議で確認します。

千歳市開基記念総合武道館 千歳市あずさ1丁目3番地 TEL 0123-22-2100

（1）北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒で、年齢は4月2日起算とし、満19歳未満の者とする。

（2）令和7年度に1・2学年在籍者とし、同一学年での出場は一回限りとする。

（3）転校生で転校後6ヶ月未満の者は出場できない。（一家転住の場合はこの限りではない。）

[団体戦]

【男女Ⅰ部】5人制で試合を行う。1校につき男子・女子各1チームとし、監督1名、マネージャー1名、登録選手7名の計9名で編成する。登録選手7名は、大会申込み書に番号順で記入する（7名に満たない場合は、番号を空けずにつめて記入する）。3名の場合は、中堅・副将・大将、4名の場合は、次鋒・中堅・副将・大将でオーダーを組むこと。選手3名以上であれば全道大会・全国大会の出場も認められる。全日制、定時制、通信制の混成は認めない。

【男女Ⅱ部】3人制で試合を行う。1校につき男子・女子各1チームとし、監督1名、マネージャー1名、登録選手5名の計7名で編成する。登録選手5名は、大会申込み書に番号順1～5に名前を記入する（5名に満たない場合は、番号を空けずにつめて記入する）。2名の場合は、中堅・大将でオーダーを組むこと。全道大会への出場権は、支部専門委員の推薦を受け、得ることができる。全国大会はない。全日制、定時制、通信制の混成は認めない。混成チームの規定は、以下の通りとする。
・今年度から、男女ともに全道の出場枠が無制限のため、支部大会から混成チームは作ることを認める。混成チームの編成については、専門委員会で確認し、監督会議で抽選等で決定する。年度により、参加状況が異なるため、編成の決定方法は年度毎に確認する。
※2名で申し込み、混成チームを希望する場合、または1名で混成チームを希望する場合は、申込書の下の欄に「○」を入力すること。ただし、申し込みの段階では、混成チームが必ずしも編成できるかどうかはわからないため、参加料は振り込みではなく、監督会議で混成チームが編成できた場合に、新人戦当日に現金で納める。

※団体戦への参加申込みは、次の3通りの中から選ぶ。
①Ⅰ部に出場し、全道出場権を得ることができなかった場合、Ⅱ部に出場する。
②Ⅰ部のみに出場する。 ③Ⅱ部のみに出場する。
(①～③のいずれも、申込用紙ならびにファイルは同一のものを使用する。申し込み用紙・ファイル参照)

[個人戦] 1校につき男・女各8名以内とする。

（1）男子団体戦Ⅰ部は、令和7年度札幌支部高体連大会順位により今大会は8校をシードする。なお、北海道高体連大会ベスト8校は、高体連支部大会結果より優先して、シード上位とする。さらに、北海道高体連大会優勝・準優勝校は高体連札幌支部申し合わせ事項により第1シード権・第2シード権（決勝トーナメントからの出場）が与えられる。

（2）女子団体戦Ⅰ部は、令和7年度札幌支部高体連大会順位をもとに今大会は8校をシードする。なお、北海道高体連大会ベスト8校は、高体連支部大会結果より優先して、シード上位とする。

（3）団体戦Ⅱ部はフリー抽選とする。男女ともに1日目のⅠ部の試合終了後に抽選を行う。ただし、参加校数によっては、監督会議に抽選を行う場合もある。

（4）個人戦（男・女）の予選トーナメント（8ブロック）は、フリー抽選とする。決勝トーナメント進出者（8名）は、予選トーナメント終了後にフリー抽選を行い、決勝トーナメントの組み合わせを決定する。
※個人戦の申込み書・申込みカードの記入は、強い順ではありません。8名に満たない申込みについては、受付順により専門部で調整させて頂く場合があります。

（5）組合せ抽選会は令和7年10月21日（火）監督会議にて行う。抽選結果は22日（水）以降、高体連札幌支部剣道専門部のHPにアップ予定。

男子団体Ⅰ部17校（12校プラス今年度の全道高体連大会において1位・2位の支部に出場枠が与えられる、さらに今年度、札幌支部に3枠の増加枠が与えられた）、女子団体Ⅰ部13校（10校プラス今年度の全

道高体連大会において1位・2位の支部に出場枠が与えられる、さらに今年度は札幌支部に1枠の増加枠が与えられた)、男女団体Ⅱ部は各支部で推薦されたチーム、男子個人37名(32名プラス人口調査による増加5名)、女子個人26名(24名プラス人口調査による増加2名)。なお、男女団体戦Ⅱ部は、各支部での合同チームの出場も可能である。全道大会は、北ガスアリーナ46で令和8年1月13日(火)・14日(水)に開催される。団体戦(男女Ⅰ部・男女Ⅱ部)においては、他支部の大会のエントリー状況により、全道出場枠が増えることもあり得る。

11 表 彰 団体戦Ⅰ部・Ⅱ部、個人戦ともに男女各5位までを表彰する。団体戦男女Ⅰ部の上位8校は次年度の春季大会のシード権を与える。男女個人戦上位8名は次年度の道高体連支部大会個人戦のシード権を与える。ただし、個人戦のシードは個人のみとする。

12 試 合 方 法 (1) 試合及び審判は、(財)全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則及び同細則」・「剣道試合・審判・運営要領」、ならびに北海道高体連剣道専門部申し合わせ事項による。
(2) 団体戦Ⅰ部は5名、団体戦Ⅱ部は3名による団体試合とし、すべてトーナメント戦(予選・決勝)方式で行う。※全道大会出場決定戦については、参加校数と出場権の数によってリーグ戦を行う場合がある。
(3) 団体戦Ⅰ部は、予選トーナメント、決勝トーナメントともに4分3本勝負とし、Ⅱ部は3分3本勝負とする。勝負の決しない場合は引き分けとする。勝者数、取得本数が同一の場合は代表者戦を行う。代表者戦はⅠ部4分1本勝負、Ⅱ部3分1本勝負とし、延長戦の試合時間もⅠ部4分、Ⅱ部3分とする。延長戦が継続する場合は延長戦2回ごとに休息(深呼吸)・休憩(給水)を繰り返し、勝負の決するまで行う。なお、休憩の際に監督から選手への指示は禁止とする。
(4) 団体戦(すべての部門)については、登録選手によるオーダー変更を、試合ごとに認める。オーダー用紙は、前の試合の次鋒戦(Ⅱ部では先鋒戦)終了までに審判主任に提出すること。但し、各会場で第1試合目の学校は、オーダーを競技開始20分前までに審判主任に提出すること。
(5) 個人戦は4分3本勝負とし、時間内に勝負が決しない場合は、延長戦を行う。延長戦は、2回ごとに休息(深呼吸)・休憩(給水)を繰り返し、勝負の決するまで行う。なお、休憩の際に監督から選手への指示は禁止とする。
(6) 参加選手は面シールドか面マスクのどちらかを着用すること。
(7) 今後、(財)全日本剣道連盟または全国高体連剣道専門部など上部組織からの通達により、試合方法が変更になる場合があり得る。

13 申 し 込 み (1) 申し込みは、道高体連札幌支部剣道専門部HP ([http:// https://sapporo-kendo.net/koutairen/](http://https://sapporo-kendo.net/koutairen/)) から書式をダウンロードし、以下の①・②を令和7年10月14日(火)までに下記メールアドレスまで送信すること。当番校から申し込みを受け付けた旨のメールを返信します。申し込んだ後、返信メールが来ない場合はお手数ですが、当番校まで連絡して、確認して下さい。また、参加料の入金も忘れずに行ってください(男女団体Ⅱ部に混成チームで参加希望の学校は、個人戦の参加料のみ振り込み、団体Ⅱ部の参加料は監督会議で混成チームが決定した場合に大会当日に持参し、納金すること)。入金が遅れた場合、各学校で入金の上、札幌剣道連盟から受領し大会会場に持参して頂くことになります。

- ①「申し込み書ファイル(Excelデータ)」
- ②「申し込み書(PDF)」 ※校長印が押印してあるもの

※申し込み書原本の「郵送や当日の提出」は必要ありません。送られてきたPDFを原本としますの
で、「顧問のみなさんへ」のページの注意書きをよく読んで間違いのないように、入力・作成して
下さい。

(2) 送信先: uene@hokkaido-c.ed.jp (北海道札幌厚別高等学校 植根 由起)
※10月14日(火)まで(期日厳守) 学校連絡先 011-892-7661

(3) 参加料: 参加料を10月14日(火)までに払込取扱票で振込下さい。
◎団体男子・女子Ⅰ部1チーム7,500円、男子・女子Ⅱ部(Ⅱ部のみに出場)3,000円
◎個人戦1名につき1,600円

【口座記号-口座番号】02760-7-45190(口座番号は右詰めで記入)

【 加 入 者 名 】札幌剣道連盟

【 通 信 欄 】 令和7年度 第50回札幌支部高等学校新人剣道大会 参加料

【団体】	男子	チーム	円	【個人】	名	円
	女子	チーム	円	【個人】	名	円
				合計		円

おところ

おなまえ

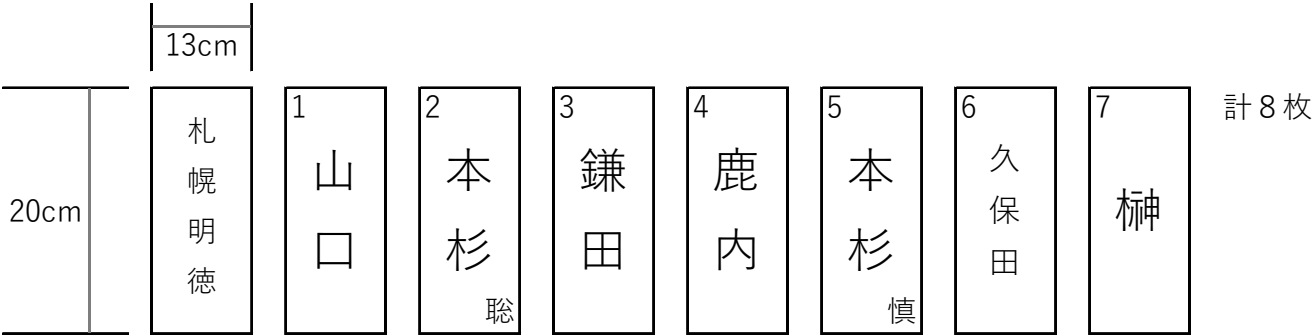
連絡先電話番号

14 監 督 会 議 令和7年10月21日(火)14:30(14:00受付)より 札幌東高等学校会議室(2F)で開催する。
※欠席の場合は、申込みメールに付記して下さい。

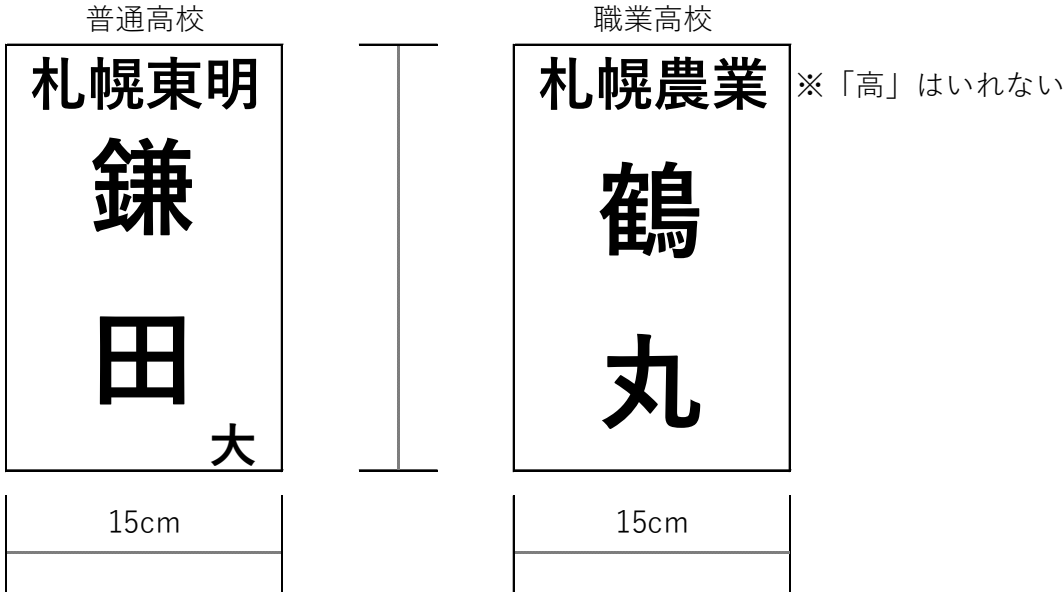
- 15 諸 注 意
- (1) 申し込み後の登録選手の変更は認めない。但し、病気・怪我・転校等で団体戦出場選手を変更せざるを得ない場合は、前日までに専門委員長へ連絡をし、試合当日の審判会議前までに校長印を押印した選手変更願を提出すること。その場合、専門委員会で検討し、変更を認めることもある。
- (2) 参加校は、用具確認証をまとめて、大会当日の受付時に提出すること。
- (3) 校名・選手名カード（下記参照）を作成し、学校名入りの封筒に男女別に入れて試合当日持参する。試合を行う会場に持参し、試合ごとにオーダー用紙と一緒に各会場に提出し、試合終了後は会場から回収し、各学校で管理する。オーダー用紙は、上記HPよりダウンロードし、各学校で印刷して持参すること。
- ①模造紙を規格サイズ（縦20cm、横13cm）に切り、登録者枚数分用意する。
- ②下記要領で校名・番号・選手名（姓）を男子は黒マジック・女子は赤マジックで書き入れる。
- ③チーム内に同じ姓の選手が複数いる場合は、名の一文字をそれぞれ記入すること。

【カードの記入例】

(表) 番号・選手名は申込書と一致する。(裏) 札幌明德高等学校 ← 学校名がわかるように押印



- (4) 登録選手は、中央の大垂れに白色で、上部に校名を横書きにし、下部に姓を縦書きに明記した黒又は紺の布製の名札を着用すること。なお、同一チーム内に同じ姓の選手が複数いる場合は、該当選手全て、名札に名の一文字を記載すること（チョーク等での記入ではなく、布等を縫い付けること。）



- (5) 竹刀の長さは、117cm以内。太さは（先皮先端部最小直径）、男子26mm、女子25mm以上とする。
- (6) 竹刀のちくとう部直径（竹刀先端部より8cmのちくとう対角最小直径）は、男子21mm以上、女子20mm以上とする。また、竹刀は先端部をちくとうの最も細い部分とし、先端から物打に向かってちくとうが太くなるものとする。
- (7) 竹刀の重さは、男子480g以上、女子420g以上とする。
- (8) 面ヒモは、物見の真後ろで結び、結び目から「40cm以内」の長さに揃えること。（各学校での指導を徹底して下さい）。
- (9) 選手の服装は、紺（黒）または白色の稽古着、袴とする。
- (10) 紅白の目印（長さ70cm・幅5cm）をチーム人数分各校で用意すること。
- (11) 竹刀の柄皮に学校名・個人名を記入すること。男子は、黒マジック・女子は、赤マジック。
- (12) 申込みに際しては、選手の生年月日を確認すること。
- (13) 監督の服装は、背広・ネクタイ、または剣道着・袴とする。選手籍に入る時は、腕時計を外すこと。
- (14) マネージャーが選手席に入る場合の服装は、制服又は紺（黒）色または白色の稽古着、袴とする。
- (15) 面金を黒塗りにした面など、通常の配色でない面の使用は禁止する。
- (16) 応援は拍手のみとし、声を出しての応援は禁止する。
- (17) 大会プログラムは、上記HPよりダウンロードし、各学校で印刷して持参してください。